

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成27年度採択課題）

中間評価結果（ハード分野）

番号	研究名	研究代表者	評価
27-4	薄板モルタルとデータ同化手法を利用したコンクリート橋の3次元塩分浸透予測手法の開発	新潟大学 教授 佐伯 竜彦	B

<研究の概要>

道路管理者が塩害橋梁の維持管理を行う際の支援ツールとして、本研究では、飛来塩分環境下にあるコンクリート橋全表面における塩分浸透境界条件を定量的に把握し、コンクリートへの塩分浸透を3次元的に把握する実用的なシステムを開発する。

<FS 評価結果>

FS 研究により成果の見通しを一定程度示すとともに、研究結果を踏まえた研究計画を示していることから、新規研究として採択する。なお、実施に当たっては、指摘事項に留意されたい。

<今後の研究計画・方法への指摘事項>

1. 開発手法を橋梁の管理や新設橋の設計等の実務においてどのように活用するのかを明確にし、研究を実施されたい。
2. 実橋梁では、水分の滞留やコンクリート表面のひび割れ等も生じており、これらの影響も考慮すれば、さらに有用性が高まると思われる。

※本中間評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第28回新道路技術会議において審議したものである。